

3、更年期障害

更年期障害の患者さんの事例です。

〔症例〕52歳、女。最近、月経が不順になり3か月くらい月経が無いことがあり、常にかゆい感じで、夫に当たり散らすことが多くなりました。突然、汗がでてきて、のぼせるような症状が出てきました。漢方治療を求めて当院を受診しました。更年期障害と診断して、加味逍遙散を飲んでいただきました。3週間服用すると気持ちが落ち着いて、かゆいや汗が少なくなりました。2か月間服用すると症状はかなり改善しました。ほぼ通常の生活ができる様になりました。

更年期とは女性の45歳から55歳までの期間を言います。更年期には女性ホルモンが減少することによって、自律神経や身体のバランスが崩れて、加齢による影響も伴って、発汗、のぼせ、かゆい、月経不順などの多彩で不愉快な症状が出現します。これが更年期障害です。更年期障害の第一選択薬は、加味逍遙散です。また、鍼灸に興味のある方は、三陰交や足三里に自分でお灸をするとよい場合があります。三陰交は婦人のさまざまな病気の治療に用いられます。更年期障害や月経困難症、逆子の治療に効果があります。足三里は胃腸を丈夫にして、気、血を調整し、結果として更年期障害を治療する効果があります。

表 更年期障害の漢方治療

体力がある場合（実証）

- ・ 女神散 ・ のぼせ、頭重感、不眠、不安などの症状がある時に用います。
- ・ 桂枝茯苓丸 ・ のぼせがあり、腹力充実して下腹部が堅くて圧痛がある時に用います。

体力がない場合（虚証）

- ・ 加味逍遙散 ・ 体質は中間から虚弱で、たいへん幅広く用いられていて、更年期障害の第一選択薬です。
- ・ 当帰芍薬散 ・ 体質は虚弱で、眩暈やお血のある時に用います。